

NEWS RELEASE (2025年2月19日) 告知・取材依頼

「鹿児島の近現代」教育研究センター 令和7年春のシンポジウム

「〈#昭和100年〉で考える「鹿児島の近現代」

—食文化・鉄道・遊びにみる“つながり”の歴史と未来—」の開催について

報道機関 各位

平素より本学の報道に関して大変お世話になっております。

「鹿児島の近現代」教育研究センターでは、令和7年3月22日（土）に、令和7年春のシンポジウム「〈#昭和100年〉で考える「鹿児島の近現代」—食文化・鉄道・遊びにみる“つながり”の歴史と未来—」を開催します。

本シンポジウムは、「食文化」「鉄道」「遊び」の3点に着目して、〈昭和100年〉の間における人びとの「つながり」の諸相と変遷を確認し、未来を展望します。

つきましては、下記の通り詳細をお知らせいたしますので、広く一般の皆様方への告知をお願いいたします。また、当日の取材につきましてもどうぞよろしくお願いいたします。

記

【日時】2025（令和7）年3月22日（土）13：00～17：30（開場12：30）

【会場】鹿児島大学郡元キャンパス学習交流プラザ2F 学習交流ホール（定員100名）

【同時配信】YouTube ライブ

【対象者】学生、一般市民

【内容】

12：30 開場

13：00 開演

13：00～13：10 開会・企画趣旨説明

13：10～14：10 テーマ1「食文化」

○報告：正岡佑月（鹿児島大学法文学部4年生）

○講演：千葉しのぶ（NPO 法人霧島食育研究会理事長、千葉しのぶ鹿児島食文化スタジオ代表）

「『鹿児島 100年の食』～伝えていきたい食と心～」

14：10～15：10 テーマ2「鉄道」

○報告：山本尚昌（鹿児島大学法文学部2年生）・鹿児島大学乗り物研究会

鹿児島県立大島高等学校

○講演：粕木郁朗（宮崎市市史編さん事業近現代史部会長、宮崎歴史資料ネットワーク副代表）

「南九州の鉄道敷設の歴史とこれから」

15：10～15：40 休憩および県内高校生によるポスター発表

15：40～16：40 テーマ3「遊び」

○報告：鹿児島県立錦江湾高等学校

○講演：伴野文亮（鹿児島大学法文学部附属「鹿児島の近現代」教育研究センター特任准教授）

「カードゲームからみる“つながり”の歴史と未来—百人一首からポケカ、そしてその先は？」

16：40～17：25 総合討論「いま〈#昭和100年〉から何を学ぶか」

17：25～17：30 閉会の挨拶・ポスター発表表彰・閉会

シンポジウム「〈#昭和 100 年〉で考える「鹿児島県の近現代」―食文化・鉄道・遊びにみる“つながり”の歴史と未来」要旨

1926 年（昭和元）から 2025 年（令和 7）のおよそ 100 年間は、日本社会において著しく現代化が進んだ時期であった。この間の日本社会では、アジア・太平洋戦争の開戦と敗戦、連合国による占領と主権回復、高度経済成長と大衆消費社会の到来、「経済大国」化とバブル崩壊以降の経済停滞など、様々なことを経験してきた。こうした激動の時代のなかを、人びとはどのような様につながり、生きてきたのか。本シンポジウムでは、「食文化」「鉄道」「遊び」の 3 点に着目して、〈昭和 100 年〉の間における人びとの「つながり」の諸相と変遷を確認し、高度情報化と covid-19 以降「分断」化が進行する現代を生きるための知見の共有を試みる。

登壇者

千葉しのぶ（ちば しのぶ）

（NPO 法人霧島食育研究会理事長、千葉しのぶ鹿児島食文化スタジオ代表）

霧島山麓の事務所＆農園を中心とし「植え方から食べ方まで」の食農教育と鹿児島の食文化継承活動を展開。「霧島里山自然学校」「霧島・食の文化祭」「かごしま郷土料理マイスター®講座」などの主催事業約 1500 回、全国各地での講演数約 700 回。「あしたのまち・くらしづくり活動賞（内閣総理大臣賞）」「読売教育賞」「南日本文化賞」「MBC 賞」など受賞。鹿児島女子短期大学准教授を経て、令和 2 年 4 月千葉しのぶ鹿児島食文化スタジオ設立。

榎本郁朗（もみき いくろう）

（宮崎市史編さん事業近現代史部会長、宮崎歴史資料ネットワーク副代表）

1961 年宮崎県宮崎市生まれ。九州大学文学部卒業。宮崎県史編さん事業に従事した後、博物館にて学芸員として勤務。2018 年宮崎県総合博物館副館長、2020 年宮崎県教育庁文化財課長、2021 年に宮崎県立西都原考古博物館長となり退職。現在は、宮崎公立大学非常勤講師、宮崎市史編さん事業近現代史部会長などを務める。専門は、日本近代史。また、被災文化財の保全活動などを行う宮崎歴史資料ネットワーク副代表。

伴野文亮（ともの ふみあき）

（鹿児島大学法文学部附属「鹿児島の近現代」教育研究センター特任准教授）

1989 年静岡県静岡市（旧清水市）出身。専門は近現代日本史・地域史。2011 年専修大学文学部卒業。2019 年 6 月一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程修了。同年 7 月東北大学文学部助教。2023 年 4 月より現職。主たる業績として、『阿部次郎ルネサンス』（共編著、ペリカン社、2024 年）、『金原明善 日本の〈偉人〉を捉えなおす』（共編著、文学通信、2023 年）、『日本学の教科書』（共編著、文学通信、2022 年）などがある。

以上

※シンポジウムフライヤーを別紙でつけております。

※取材を希望される際には、事前に下記担当者までご連絡ください。

※センター HP <https://kadai-kingendai.jp/>

【申込み先】

※添付ポスターの QR コードから専用フォームにアクセスし、必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。

※お電話でのお申し込みも受け付けております。

※定員に達し次第応募を締め切らせていただきます。（定員 100 名）

【締 切 日】 令和 7 年 3 月 21 日（金）

【参考 URL】 <https://kadai-kingendai.jp/information/>

【問い合わせ先】

鹿児島大学法文学部附属「鹿児島の近現代」教育研究センター事務室担当：江（ジャン）・佐藤

TEL：099-285-7532 E-mail：kingendaijim@leh.kagoshima-u.ac.jp

※ニュースリリースは鹿児島大学ホームページからもご確認できます。（解禁日以降に随時掲載）

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/about/pr-info.html>

【トップページ＞大学紹介＞広報＞ニュースリリース・報道・広告】